

地域全体で子どもを育み、子どもの成長を見守り支える活動

学校名	郡上市立石徹白小学校	対象学年	全校児童
支援活動内容	地域人材によるふるさと学習・地域の公民館活動		

学校の願い

- ・地域の人材を生かした活動を仕組むことによって、地域の方に学校教育に参加していただき、子どもたちと地域の方との関わりをうみだしたい。
- ・子どもたちが地域の行事に参加し、地域の一員としての自覚をもって活動することを通して、子どもたちに自信をもたせるとともにふるさとを愛する心を育みたい。

活動内容

石徹白公民館



運営に参加

小学校

- 校長 … 公民館運営審議委員会委員
- 教諭 … 公民館主事



ふれあい大運動会

- ・地域で企画・運営。準備と片付け、競技用道具出し入れの補助
- ・地域の方手作りの「ふれあい鍋」を一緒に賞味
- ・子どもたちの競技の応援



ふれあい文化祭

- ・授業日にして児童も参加
- ・授業で描いた絵を作品展で展示
- ・ステージ発表

- 地域の方による石徹白民踊・わらべ唄の指導
 - ・唄の指導
 - ・踊りの指導

H24…民踊「夜づき」「ヤンコラセノセ」「よいとそりや」
手まり唄「正正正月や」
H25…民踊「夜づき」「粉ひき唄」「シッコチョイ」
手まり唄「正正正月や」

ふれあい雪のつどい

- ・小学生の部のスキー競技に参加
- ・大人も参加する競技にも参加

活動の効果

- 子どもたちが、地域の人たちの声援を受け演技することによって、一輪車の演技※1において練習の時をはるかに超える回数を記録した。全校児童11人では味わえない大きな感動と達成感を味わうことができた。その一方、子どもたちの一生懸命さが、地域の人に感動をもたらした。
- 地域の多くの方が力を合わせ行事を運営する姿を間近に見ることによって、自分たちを支えてくれている人の存在に気付くことができた。その気付きが、終了後の後片付けを進んで手伝う姿となった。
- 地域の公民館活動の運営に学校が関わることによって学校を、子どもたちを核とする地域との輪が生まれ、広がりが生まれる。

※1 全校児童11人が手をつないで棒をくぐり抜ける演技。
途中で手が離れたり、足をついたらやり直し。練習の最高記録は23回。運動会では39回を記録した。



【子どもの作文】

一つの家族になった運動会

目をとじると、今でも、地いきの人のえ顔やなみだで光る顔が見えてきます。「やったあ」というかん声も聞こえてきます。

…たい場する時に、おうえんしてくれた地いきの人とハイタッチをしました。みんなえ顔で「がんばったな」「すごかったよ」「よかったよ」と言って、タッチしてくれました。なみだでいっぱいの人もありました。手のあたたかさが伝わり、わたしはむねがいっぱいになりました。…

いっしょに熱くもえたことで、石徹白の人たちが一つの家族になったようでした。

